

おおはら
大原つよし
剛 OHARA Tsuyoshi文学部 日本文学科 教授
TEL : 088-665-1300 (内線 : 2316)

PROFILE 研究者略歴	DATA 主な業績
<p>■生年月 1954年11月</p> <p>■学位 文学修士 (広島大学/1988. 3)</p> <p>■学歴 香川大学教育学部中等教員養成課程卒業(1979. 3) 広島大学大学院文学研究科博士課程前期修了(1988. 3)</p> <p>■主な職歴 高松東高校教諭 (1979. 4) 四国女子大学短期大学部文科講師(1988. 4) 四国大学短期大学部助教授(四国大学と改称)(1992. 4) 四国大学短期大学部教授 (1998. 4) 四国大学文学部教授 (2001. 4)</p> <p>■専門分野 日本近代文学</p> <p>■現在の研究 「どのようにすれば小説が書けるか」「何を 読み取れば小説を読んだことになるか」という問題に同時に答え得る小説論 の構築をめざしている。</p> <p>■所属学会 日本近代文学会、広島大学国語国文学 会、広島大学近代文学研究会、香川大学 国文学会 等</p> <p>■担当授業科目 [学 部] 基礎講読近代・現代文学、文章表現法 I・II、文芸創作 I・II、専門研究 I・II、 卒業研究 I・II、初年次ゼミ I・II、キャ リア形成入門 [研究科] 特別演習 I・II、文芸創作・評論特論</p>	<p>■主な学会及び社会活動等</p> <p>1) 四国大学オープンカレッジ 奈良を旅する (2005)</p> <p>2) 四国大学オープンカレッジ 小説の謎を楽しむ (2007)</p> <p>3) 四国大学オープンカレッジ 川端康成から小川国夫まで(2009)</p> <p>■主な研究論文・著書等</p> <p>1) 詩集『進化説』(単著、1983、審美 社(東京))</p> <p>2) 「小川国夫「アポロンの島」の方法」 (単著、1991、『香川大学国文研究』 第16号)</p> <p>3) 「谷川俊太郎の詩私解(その3)」(単 著、1996、『香川大学国文研究』第21 号)</p> <p>4) 「小川国夫「アポロンの島」論」(単 著、2004、『言語文化』第1号)</p> <p>5) 『いやしの在りかまで—小説創作論 ノート—』(単著、2012、審美社(東 京))</p> <p>6) 「小説論ノート(10)」(単著、2015、 『言語文化』第13号)</p>